

# 令和5年度(2023年度)第1回長房中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和5年(2023年)4月22日(土)9:30~11:20
場所	市立長房中学校2階被服室
出席者	参加者: 縣、宇田、坂本、清水、鈴木、塚本、中嶋、西山、本堂、野副、森、森本、山陰、山中、大谷、東城、田名網 高齢者あんしん相談センター長房: 古座野 第1層生活支援コーディネーター: 今泉 市地域づくり担当: 新納、伊東、興梠、三井、徳永、山北
オブザーバー	浅川地域事務所: 清水
配布資料	・資料1 令和5年度(2023年度)第1回長房中学校区地域づくり推進会議 次第 ・資料2 八王子未来デザイン 2040 に基づく地域づくりの推進について ・資料3 情報発信部会報告資料 ・資料4 イベント部会報告資料

## 1 開会

司会(森氏)より挨拶、資料確認、新規参加者紹介

## 2 市からの報告

(1) 令和5年度(2023年度)の八王子市組織体制について説明

(2) 長房中学校区におけるこれまでの地域づくりに対する取り組みの振り返り

- ・ 地域カルテについて
- ・ 地域づくり推進計画について

(3) 八王子未来デザイン 2040 に基づく地域づくりの推進について説明

- ・ 2040 年を展望すると、人口減や、それに伴う市の収入減による財政難など厳しい社会環境の変化が見込まれ、多くの課題が待ち受けている。今後、行政がこれらすべての課題に対応することは難しくなる。加えて、地域が抱える課題は多様化・複合化していることから、行政は市内への施策を一律に展開するのではなく、それぞれの地区の状況に応じ、細やかに関わっていく必要がある。
- ・ 地域がつながり、行政も関わって地域自治を行うプラットフォームとして「地域づくり推進会議」を設置している。今後は、公共施設マネジメントとして、長房中学校、長房小学校、船田小学校の再編等についても話をしていきたい。また、市は地域自治を行うための知見を得たいと考えており、モデル地区である長房においては、次回以降の推進会議で地域自治検討のためのワークを市が投げかけるため、これまでの取り組みに加えて、ご協力いただきたい。

### ➤ 参加者の主な意見

- ・ その目的で会議を進めていくのであれば、これからの未来を担う若い世代にも推進会議に参加してほしい。
- ・ 推進会議には、行政が持つような権威や、事業を進めるための資金などが不足しているように感じられる。その不足しているところについて検討していきたい、ということならば、もっともな話といえる。
- ・ 市議会議員なども参加してよい話だと思う。この件に関し、市議会議員とも話したい。
- ・ 地域自治について考えてほしいということだが、ひとまず長房地区の地域自治について考え

るということでしょうか。

⇒(市回答)そのとおり。

- ・ 地域自治について考えるということは、抽象的でなかなか大変なこと。今後市にどのようなことができなくなっていくのか、という具体的な事案があれば話しやすいと思う。  
⇒(市回答)先行きが見えないため、現時点で具体的な事案を出すこともできない。難しい問題というのは承知しているが、モデル地区ということで、まずは少し話をしてみたい。
- ・ 推進会議は、地域で何ができるかを考えていく場として当初から活動しており、その上で3つの部会が活動しているはず。先ほどの話にあったような、今後生じてくる課題に対し、それぞれの部会は何ができるかというすり合わせをすることが必要。

### 3 各部会における活動状況及び活動計画等の共有

#### (1)情報発信部会の報告

- ・ コピオのディスプレイをまちの掲示板として活用する、SNSでの情報発信、ホームページを作成し情報発信する、という3つを主に進めていく。
- ・ 情報を発信するうえで、ネットリテラシーやリスクマネジメントの面はくれぐれも気を付けたい。詳しい人など、市でご紹介いただけないか。  
⇒(市回答)市のほうで確認する。また、市が情報発信する際、参考としている資料などを提供できると思う。
- ・ 長房では、市民の興味を引くイベントや桜の開花情報など旬の見どころもあるため積極的に発信していきたい。ある程度のスピード感をもって発信していくことも必要と考えるため、情報発信の都度承認がいる等の仕組みではなく、担当者がある程度自由にSNSをしていくことについて、何らかの形で正式な承認が欲しい。  
⇒情報発信部会で別途調整
- ・ 今までも打診はしていることだが、SNSを発信するための端末などをいただくことは難しいか。  
⇒(市回答)難しい。

#### (2)支えあい部会報告の報告

- ・ 6月10日に「みんなの食堂」を実施することが決定したので、それに向けて活動していく。スーパーアルプスと、場所や食材の手配についても調整している。
- ・ 特に、子どもが多く来てくれたら嬉しい。長房の児童館・学童に協力をいただき、連れてきてもらうことを考えている。今回うまくいったら、今後は長房の児童館や学童に通う子ども以外も参加できるように声をかけていきたい。
- ・ 子どもを呼ぶならば、食事を準備するほか、子どもが喜ぶようなイベントをやるのが効果的ではないか。アルプスに問い合わせしてみる。間に合えばやりたい。

#### (3)イベント部会の報告

- ・ 年間スケジュールを作成済み。10月末に行う予定のハロウィンイベントについては、東団地主催で、一緒に実施していく予定。今後は、小さい規模で同時開催などをし、ゆくゆくは大規模に合同開催することが最終目標。
- ・ マルシェ実施については、5月下旬頃に川口などの地区で行っているマルシェを調査し、小さい規模

でも実施し、資金調達をしたい。資金運用については、今後ルールなど決めていくようか。

- ・ 花火については、長房中学校の校庭などを利用し、やりたいと考えているため調査している。若い人も興味を持ち、近くに特別養護老人ホームなどもあるため、声をかけると世代間の交流にもなる。

#### 4 市からの報告2(地域全体が抱える課題の共有及びその取扱い)

- ・ 中学校区が異なるため、都営長房南団地は長房中学校区の全体会に参加していないが、参加したいという意見がある。全体会の参加は問題ないが、公共施設部会への参加可否については、学区の設定等の確認が必要なため、整理する必要がある。  
⇒(参加者回答)学区の設定という点では、地域住民として、学区を越えないという意識は薄れてきていると思う。事情としては了承した。

#### 5 推進会議の年間開催日程について市より情報共有

以上